

2-1-2

四国堀跡

ここ大桑は戦国時代、美濃国の守護大名・土岐氏が「大桑城」を築いた地である。

江戸時代に描かれた絵図には「四国堀」「越前堀」「外堀」などの彫があったことが記されている。

現在ここに残っている堀と土塁の跡は、「四国堀」に当たり、斎藤道三との戦に備えていた当時の守護・土岐頼芸が、越前など四カ国の軍勢の加勢を受けて造ったという伝承が残っている。

また絵図に記された「越前堀」は越前の軍勢が掘ったとされるもので現在は残っていないが、平成8・9年度の発掘調査ではこれに相当すると思われる埋没した堀の跡が確認された。

堀を境にして谷の内部が城内であり、土岐氏の本拠地がこれらの堀によって守られていたことがわかる。

そのほかこの一帯には城下町らしきものがあつたことをうかがわせるような屋敷地名や寺院・鍛冶屋の伝承等が残っている。

山県市教育委員会

説明板より